



実りの恵みに復興を遂げる明日を望んで。

東日本大震災によって、住宅地だけでなく沿岸の漁業や農業に大きなダメージを受けた山元町ですが、特産のいちご栽培を復活させるなど地域の底力を発揮しています。そんな同町にみなぎる元気と出合えるバスツアーを開催。「山元いちご農園」を訪ね、いちご狩りとジャム作り体験を楽しみながら、6次化産業への取り組みや今後の展望を探ります。また、2015年度の活動でも協力いただいた「やまと語りべの会」の渡邊修次会長をガイド役に、防災・減災語り部ツアーも実施。実体験に基づいた命を守る防災の知恵を学びます。

震災を乗り越えた山元町の「今」を。



やまと語りべの会会長
渡邊修次さん

震災発生時、山元町立山下中学校の校長として、750人以上が集まった学校を避難所として運営した実績を持つ渡邊修次さん。定年退職後は「やまと語りべの会」を設立し、震災の記憶伝承や防災意識の養成などに注力しています。「7年を経た今、震災の経験によって得た教訓を次の世代に伝える使命とともに、イチゴやホッキ貝といった豊かな特産品や地域ならではの魅力をより多くの人に知ってもらいながら、また山元町に足を運んでもらえるようにすることが大切だと感じています」と展望を語ってくれました。

地域防災の要となる重要拠点を見学。

平常時には地域の交流・活力を創造するための交流拠点として機能し、災害が発生した時には町民の安全・安心を守る防災拠点となる「防災拠点・山下地域交流センター」。4,400人に3日間水を供給できる耐震性貯水槽や、発電機やマンホールトイレなどを保管する備蓄庫など随所に有事の備えが凝らされているこのセンターの所長、岩佐勝さんは当日、バックヤードツアーのガイドを務めてくれます。「地域住民によって展示内容が更新される防災情報コーナーをはじめ、多くの命を守るための拠点としてどんな機能が採用され、有効活用するための工夫が考えられているかを、見学を通して知ってもらえるとうれしいですね」と、このバスツアーへの期待を示してくれました。



山元町防災拠点
山下地域交流センター所長
岩佐勝さん



山元町特産のいちご



募集要項

2016年1月30日に行われた
防災・減災語り部ツアー



山元町防災拠点・山下地域交流センター

山元町「特産の味覚と防災・減災を学ぶ」バスツアー募集!

旅行期日 12月1日(土) 日帰り 旅行代金 1名につき1,000円(大人・子ども(小学生以下)同額)

- 募集人員/60名(最少催行人員20名) ●食事条件/朝食0回、昼食1回、夕食0回 ●添乗員/仙台駅より全行程同行します
- 利用貸切バス会社名/みちのく観光
- 行程/▶9:00 仙台駅東口より出発(貸切バス) ▶10:00 山元町着~「ベリーベリーラボ(山元いちご農園)」でいちご狩り
▶11:30 震災時の中浜小学校校長井上さん(やまと語りべの会)による防災・減災語り部ガイド
▶12:30 昼食(山下地域交流センターにてはらこ飯弁当)
▶13:30 午前中に採ったいちごでジャム作り体験/防災拠点としての山下地域交流センターのバックヤード見学
▶15:15 山元中央公民館で風雲乱打舞の太鼓演奏鑑賞&やまと語りべ大使で継続活動している特別ゲストによるミニライブ
▶16:15 山元町内で特産品などのお買い物 ▶18:00 仙台駅東口到着解散

※当日の天候によっては行程が変更になる場合もあります。

プロジェクトに関するお問い合わせ > 今できることプロジェクト(事務局)河北新報社営業部 TEL 022-211-1318(平日10:00~17:00)

ご旅行内容に関するお問い合わせ > 旅行企画・実施(株)JTB仙台支店 観光庁長官登録旅行業第64号(一社)日本旅行業協会正会員 〒980-0804 仙台市青葉区大町1-4-1 明治安田生命仙台ビル4F TEL 022-263-6712(平日9:30~17:30)FAX 022-263-6693

参加条件

- ①「今できることプロジェクト」の趣旨に賛同し、地域の魅力発信支援についての理解をより深めたいと考えている方。
 - ②当日配布するアンケートに記入いただけること。
 - ③当日写真ならびに映像撮影させていただき、新聞および特設HP・facebookに掲載させていただく場合があることをご了承いただける方。
- ※高齢の方、もしくは持病(重度の喘息等)や障害をお持ちの方は、ボランティア活動時や災害発生時の安全確保の観点から、主催者の判断で参加をお断りする場合があります。予めご了承ください。

参加ご希望の方は

ハガキまたはメールに、代表者の住所、氏名、年齢、電話番号(日中連絡が付きやすい電話)、参加希望人数、参加者全員の氏名と年齢、参加希望動機をご記入の上、右記応募先までお送りください。

応募締切/11月15日(木) ※当日消印有効

※応募多数の場合は抽選となり、当選者には、詳しい旅行条件等を記載した書類を11月22日までに郵送いたしますので、ご確認のうえ旅行代金のお振込みとともに旅行お申し込みをお願いいたします。
※申し込みにあたりご提供いただいた個人情報は、お客様との連絡のほか、当プロジェクト推進のために当プロジェクトを主催する河北新報社へ提供いたします。

応募先

ハガキ 〒980-0804 仙台市青葉区大町1-4-1
明治安田生命仙台ビル4F
(株)JTB仙台支店
「12月1日出発山元町バスツアー」係
メール hsendai2@jtb.com ※係名を必ずご記入ください。

承認番号 E1810072

私たちも、復興のために「今できること」とともに考え、このプロジェクトを推進していきます。

IHI/アヴィエスホーム/アサヒビール 東北統括本部/岩手日日新聞社/エイチ・アイ・エス/NTTデータ東北/キリンビール 仙台工場/ケーズデンキグループ・デンコードー/劇団四季/神戸製鋼所
サッポロビール 東北本部/サンセイラディック 仙台支店/サントリー酒類 東北支店/JTB/住友不動産 東北支店/生命保険協会 宮城県協会/第一生命 仙台総合支社/大和証券 仙台支店/DICグラフィックス
伝承千年の宿 佐勘/東北三菱自動車販売/日本製紙/日本製紙クレシア/日本生命 仙台支社/野村不動産 仙台支店/日立システムズ/平松剛法律事務所/富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ
三井不動産 東北支店/三菱地所グループ/宮城県建設業協会/宮城県自動車整備振興会/宮城県法人会連合会/みやぎ生活協同組合/明治安田生命 仙台支社/リコージャパン 宮城支社/河北新報社(順不同)
◎後援/宮城県、仙台市、気仙沼市、山元町、宮城県市長会、宮城県町村会、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会

[お問い合わせ]今できることプロジェクト事務局/河北新報社営業部 tel 022-211-1318

皆さんの支援情報や参加しているプロジェクト、感じていることを「今できることプロジェクト」特設HPにお寄せください。